

「北海道SDGs推進ビジョン（仮称）」骨子（備考入り）

北海道総合政策部政策局計画推進課

骨子	備考
<p><b>1 ビジョンの基本的な考え方</b></p> <p>(1) 策定の趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2015年に国連で採択されたSDGsは国際社会全体の目標であり、国においても、その達成に向けた取組は地方創生に資するものであり重要と位置付け。</li> <li>・ 道としても、北海道命名150年を節目に、これから先の50年、100年に向け、地方創生の成果を確かなものとし、世界の中で存在感を高め、世界とともに歩む持続可能な地域づくりを進めていくため、SDGs推進に積極的に取り組むことが必要。</li> <li>・ SDGsの推進には、自治体、企業・団体、NPO、道民など広範なステークホルダーが各々の立場で主体的な取組を進めるとともに、ステークホルダー間の連携した取組を進めることが不可欠</li> <li>・ このため、SDGsの理念や意義について、道民の理解が広がり、道内におけるSDGsの主化や多様なステークホルダーが連携・協働した取組が積極的に推進されるよう、本道の直面する課題や独自の価値などを踏まえた「めざす姿」など共通の考え方を示し、北海道全体でSDGs推進を図るためのビジョンを策定。</li> </ul> <p>(2) ビジョンの位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本道においてSDGsを推進するため、SDGsの理念や意義、本道の「めざす姿」や優先課題・対応方向、推進手法など取組の方向性を示すものであり、道内の多様なステークホルダーが互いに共有する基本的な指針。</li> <li>・ ビジョンを通じ各ステークホルダーがSDGsという「共通のものさし」を持ち、取組目標の理解が進展することにより、各々の活動においてSDGsの主流化に取り組むとともに、連携・協働した取組を促進し、世界とともに歩む持続可能な地域社会づくりを進めるためのガイドライン。</li> </ul> <p>(3) 目標年 2030年（国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の目標年）</p> <p><b>2 北海道を取り巻く状況</b></p> <p>(1) 北海道の現状・課題</p> <p>SDGsの17ゴールに照らしながら本道の課題や強みなどを分析し、次の区分で再整理して明示。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生活・安心 保健・福祉、環境、防災などの状況</li> <li>② 経済・産業 農林水産業、観光、エネルギー、雇用などの状況</li> <li>③ 人・地域 教育、男女平等参画、地方の過疎化などの状況</li> </ol> <p>(2) 世界に誇れる北海道の価値と強み</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 魅力となる雪や寒さ</li> <li>② アジア・ロシア極東との近さなど地理的優位性</li> <li>③ 厳しい自然条件などのもとで培われた優れた技術</li> <li>④ 優れた自然環境・豊かな水資源と森林</li> <li>⑤ 広大な土地・3つの海を背景とした高い食料供給力</li> <li>⑥ 豊富で多様なエネルギー資源</li> <li>⑦ 多様性に富む地域</li> <li>⑧ 独自の歴史・文化</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGsは全てのステークホルダーが当事者として主体的に参加する全員参加型の取組が求められている。道としては北海道命名150年を節目に、世界の中での北海道の存在感を高めていくためにも、SDGsに関する多様な主体の理解と参画が広がり、官民一体となった連携した取組を推進するため、SDGs推進について官民で共有するビジョンを策定することとしたもの</li> <li>・ 内容は国の実施指針や「まち・ひと・しごと創生総合戦略2017改訂版」などを踏まえ記載</li> <li>・ このビジョンは、SDGsに関する道民の理解と参画が広がり、幅広い分野や地域で様々な取組が展開されるよう、多様な主体が共有する「基本的な指針」となり、それぞれの取組を促進する「ガイドライン」と位置付ける</li> <li>・ 2030アジェンダとの整合を踏まえ設定</li> <li>※（4）にSDGsの概要などを追記予定</li> <li>・ SDGs推進に向け、ステークホルダーが本道の実情を共有するため、本道の現状・課題をSDGsのゴールに照らしながらデータを用いて分析</li> <li>・ 「SDGs指標」や「ローカライズ指標」と関連の深い、道の各種計画で設定する指標（データ）をゴールごとに選定し、「①生活・安心」、「②経済・産業」、「③人・地域」の区分で再整理し、現状等を見える化（資料3-2参照）</li> <li>・ SDGsの推進に貢献する本道の優位性を提示</li> <li>・ SDGsのゴールと関連があり、かつ、本道が優位性を有するものを、積極的に活かしていくべきものとして掲載し、可能な限りデータで見える化</li> </ul>

骨子	備考
<p><b>3 北海道のめざす姿と優先課題・対応方向</b></p> <p>(1) めざす姿  「世界の中で輝きつづける北海道」  ～世界に誇れる北海道の魅力を磨き、育て、様々な強みを活かし、SDGsを推進することによって、「世界の中の北海道」としての存在感を高めながら、将来にわたって安心して心豊かに住み続けることができる地域社会を形成していく～</p> <p>(2) 北海道の優先課題と対応方向  SDGsのゴールやターゲットを参考にしながら、その推進に向けた取組の柱として、北海道として特に注力すべき課題を次のとおり整理。(※対応方向は、今後、ステークホルダーとの意見交換等を通じて検討。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① あらゆる人々が将来の安全・安心を実感できる社会の形成</li> <li>② 環境・エネルギー先進地「北海道」の実現</li> <li>③ 北海道の価値を活かした持続可能な経済成長</li> <li>④ 未来を担う人づくり</li> <li>⑤ 持続可能で個性あふれる地域づくり</li> </ol> <p><b>4 ビジョンの推進</b></p> <p>(1) 各ステークホルダーの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政 ～各種施策を通じたSDGsの推進及び普及、ステークホルダー間の連携強化</li> <li>・ 企業 ～中核的事業を通じたSDGs達成への貢献</li> <li>・ 団体・NPO ～国際的・地域的ネットワークや専門性を活かした取組の推進</li> <li>・ 教育機関 ～SDGsに関する学習等の推進</li> <li>・ 道民 ～生活者としての主体的取組の推進、活動への参加 など</li> </ul> <p>(2) 推進手法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道は全庁横断的な「北海道SDGs推進本部」の下、各部・振興局等が一体となりSDGs推進に向けた取組を展開するとともに、施策・事業の企画・実施や各種計画の改訂等に当たり、SDGsの要素の反映により実効性の確保に努める。</li> <li>・ ステークホルダー間でビジョンを共有し、優先課題の解決に向けた連携・協働による取組を推進。</li> <li>・ 道民の理解促進やステークホルダーによる積極的な取組を促すため、先行して取り組むステークホルダーが連携しながら、幅広い分野・世代に対してSDGsを普及啓発。</li> </ul> <p>(3) 推進管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道内におけるSDGsの先進的な取組状況について、ステークホルダーとの意見交換などを通じて把握し、広く情報発信を図るとともに、道の主な取組状況は政策評価を活用して整理し、公表。</li> <li>・ 経済社会情勢の変化やSDGs推進に関する国の動向なども踏まえ、必要に応じて見直す。</li> </ul>	<p>・「めざす姿」はSDGsの推進により世界の中で北海道の存在感を高めながら、将来にわたって安心して心豊かに住み続けられることができる地域社会を形成していくとの思いを込めて設定</p> <p>・ 5つの優先課題は、SDGsが示す幅広いゴールや、国の優先課題を踏まえながら、「2 北海道を取り巻く状況」との対応関係と整合を図り設定  <u>(資料3-3参照)</u></p> <p>・ 優先課題に対する「対応方向」は、北海道SDGs推進懇談会における意見等を踏まえ検討</p> <p>・ 「対応方向」ごとに、ステークホルダーに求められる具体的な取組を、先進事例を参考に「取組イメージ」として掲載することを予定</p> <p>・ オール北海道の共通指針となるビジョンの下で、各ステークホルダーの取組が活発に展開されるよう、取組において各主体に期待される役割などを国資料なども参考に示す。</p> <p>・ 知事をトップとする推進本部の下、多様な主体と連携しながら取組の拡大を図るとともに、道内における普及啓発にも積極的に取り組むことを示す。</p> <p>・ ステークホルダー間の連携による取組や普及啓発の推進に向けた「北海道SDGs推進ネットワーク(仮称)」を立ち上げ、取組を促進することを示す <u>(資料4参照)</u></p> <p>・ SDGsを効果的に推進していくためには、先進事例を把握し、多様な主体で共有していくことが重要。</p> <p>・ このため、民間等の主な取組状況は、「北海道SDGs推進ネットワーク」等を通じて把握し、道ホームページ等において情報発信するとともに、道の主な取組状況は、政策評価を活用して整理し、道ホームページ等において公表することを示す</p> <p>・ 社会情勢や国の動向などを踏まえ、ビジョンを見直すなど、柔軟な対応を行うことを示す。</p>